

教員養成におけるミュージカル活動の意義Ⅱ —来場者アンケートの分析から—

松本香奈*, 位田かづ代*, 森 洋子*, 土井のぞみ*, 齋藤陽子*

*岐阜女子大学文化創造学部

(2017年9月25日受理)

The Significance of Musical Activities in the Teacher Education II — From the analysis of the guest questionnaires —

*Faculty of Cultural Development, Gifu Women's University

MATSUMOTO Kana*, INDEN Kazuyo*, MORI Yoko*,
DOI Nozomi* and SAITO Yoko*

(Received September 25, 2017)

要 旨

本研究は、初等教育学専攻で取り組んでいるミュージカル活動の意義を、来場者の視点から明らかにするために、受け入れ側としての大学や学生の対応、ミュージカルの内容や全体を通しての感想などを、来場者アンケートの中の主に自由記述から分析した。その結果、この活動は、学生にとって保育士・教員としての力量を形成する場となっていること、地域の子育て支援の一助となっていることが見えてきたので報告する。

〈キーワード〉 教員養成 ミュージカル活動 意義 来場者アンケート

I. はじめに

本年度で13回目となる「岐女大わくわく劇場」は、来場者や保護者からの期待をうけて7月9日に上演した。昨年までに、上演前後の学生アンケート調査から過去3年間の報告を行い、ミュージカル活動において初等教育学専攻の学生に保育士・教諭としての資質・能力がどれだけ身についたかを示した(松本ら, 2014; 2016; 2017)。結果として、継続したミュージカル活動を通して、自分の行動への責任、自主的な行動、臨機応変な対応、

使命感、思いやりの心が向上することが明らかになった。ミュージカル活動は、今後も継続することにより、課題となる事柄を一つ一つ丁寧に解決することは勿論であるが、より一層の保育士・教諭としての資質・能力の向上が期待できることを明らかにした。

一方で、来場者アンケートも継続して実施している。来場者が、本活動に対してどのような考えを持っているのか、期待することはどのようなことであるか、改善すべきことは何かということを明らかにすることで、学生を育てることのみならず、子どもを連れて来

てくださる地域の保護者に対して、ミュージカルを通してどのような支援ができるのかを明らかにすることも、大学として重要になると考えている。

古屋ら(2012)は、大学でのオペレッタ創作発表終了後に学生アンケート調査やレポート課題から効果を考察している。学生の結果は、大きな満足感・充実感をもたらし、学生の自信形成や向上心の源であると述べている。来場者アンケートとしては、7項目の評価(内容・テーマ・演技・美術・音楽・ダンスなど)を行っている。ただし、近隣の園児を招待しているので、来場者アンケートは、在学中の1~4年生の学生44名と一般18名(卒業生、教員、幼稚園・保育所の保育者を含む)である。多くの項目において「とてもよい」が選ばれ、自由記述のコメントも大多数は良い評価であったことを明らかにしているが、これは学生の意見が多く反映されていると考える。

他に養成校実施のミュージカル活動やオペレッタ活動で、学生への教育的効果や意義などを明らかにしたもの(宮本, 2007; 武岡, 2010など)は多数見られるが、ミュージカル活動の意義を来場者アンケートから明らかにしているものはほとんどみられない。

このように来場者に対する調査研究は少なく、保育者養成校として今後地域に根差した活動を行うためには、一般来場者の意見を集約する必要があると言える。本学は、近隣地域の就学前の親子対象に毎年実施していることから、来場者アンケートは地域の意見ともいえる。大学と地域が連携してのミュージカル活動の在り方を進めるうえで、来場者の視点から捉えるミュージカル活動の意義を明らかにすることを目的とする。

今回は、ミュージカル上演後(午前と午後の2回)の来場者アンケートから、来場者か

らみた受入れ側としての大学の対応や学生スタッフの対応、ミュージカルの内容、感想などを2年間にわたり分析したので報告する。

II. 調査概要(2016年度)

1. 調査対象と調査方法

2016年度は、第12回「岐女大わくわく劇場」の来場者を対象とした。アンケート手法は、来場者に公演前の受付で用紙を手渡し、上演後に会場内での留め置き自記入式の方法をとった。退場口に回収ボックスを設けた。同一地域から来場するグループや家族による回答の偏りを避けるため、一家族一枚のアンケート用紙を配布した。

調査時期は、2016年7月10日午前の部、午後の部の公演終了後に実施した。

2. 調査項目

調査項目は以下のとおりである。

【質問1】

- (1) 子どもの年齢(0歳~6歳以上)
- (2) 来場者の住所(岐阜市・山県市・関市・それ以外の4択)
- (3) 「岐女大わくわく劇場」参加回数(「今回がはじめて」から「5回目以上」までの6択)

【質問2】

- (1) 開催の情報源(「幼稚園・保育園からのチラシ」「大学のホームページ」などから「その他」までの5択と記述)
- (2) 学生スタッフは親切かつ丁寧な対応ができていたか(「全くできていなかった」から「十分できていた」を4択で求めた)。
- (3) ミュージカル運営に関して気づいた点(自由記述)

【質問3】

- (1) 全体を通して子どもは楽しく観てい

たか(「全く楽しくなかった」から「とても楽しかった」の4択)

(2)「14ひきのねこ」を観て、一番感じた気持ち(「ありがとう」から「その他」まで5択と記述)

(3)「まほのりんご」を観て、一番感じた気持ち(「ありがとう」から「その他」まで5択と記述)

(4)本日上演した中で、最も印象に残っている場面はどこか(自由記述)

(5)上演に関して今後望むこと(自由記述)

(6)全体の感想(自由記述)

【質問4】

その他の意見(自由記述)

【質問5】

保護者の方への質問。お子様が幼稚園や保育所においてミュージカル活動に取り組むと仮定した場合、この活動を通してどのような力がお子様に身につくと考えますか。各項目それぞれに対してあてはまる数字を○で囲んで下さい(4件法)(表1)。

表1 子どもに身につく力

番号	項目	1 全く 思わ ない	2 あ ま り 思 わ ない	3 ま あ 思 う	4 と て も 思 う
(1)	健康な身体をつくる	1	2	3	4
(2)	基本的な生活習慣を身につける	1	2	3	4
(3)	友だちを大事にし、仲良く協力すること	1	2	3	4
(4)	豊かな情操や感性を育むこと	1	2	3	4
(5)	人への思いやりをもつこと	1	2	3	4
(6)	いろいろなことに興味をもつこと	1	2	3	4
(7)	思ったことをはっきり話す	1	2	3	4
(8)	人の話をよく聞く	1	2	3	4

Ⅲ. 調査概要(2017年度)

1. 調査対象と調査方法

2017年度の調査は、第13回「岐女大わく

わく劇場」の来場者を対象者とした。アンケート手法は2016年度と同様であるが、2017年度は、大人用(午前の来場者が回答)、子ども用(午後の来場者が回答)の2種類のアンケートを作成した。2種類のアンケートを作成したのは、来場者の意見をより詳細に把握できると考えたためである。家族単位ではなく一人に一枚配布し、回答してもらった(子ども用は、子ども自身が回答できない年齢の場合、保護者に記入してもらった)。

2. 調査項目

調査項目は2016年度とほぼ同じであるため、変更及び追加した項目のみ列挙する。

(1)大人用(午前配布)

【質問1】

(1)来場者の年齢(10代~70代以上)

(2)本学との関係性(「学生保護者」「本学学生」などから「その他」までの6択)

【質問2】

(2)参加理由(「楽しそうだったから」「昨年来て、もう一度見たいと思ったから」などから「その他」までの7択と記述)

【質問3】

(2)「ともだちや」を観て、一番感じた気持ち(「ありがとう」から「その他」まで5択)

(3)「ほくらのゆめ」を観て、一番感じた気持ち(「笑顔の大切さ」から「その他」まで5択)

(7)活動を通して、学生の良い姿や身に付けたと感じられること(自由記述)

【質問4】

(1)普段参加しているイベント(「演劇関係」「ものづくり関係」などから「その他」までの6択、複数回答可)

(2)大人向けイベントを大学で行う場合の希望(「絵本の読み聞かせ」「紙芝居の読

み聞かせ」などから「その他」までの9択、複数回答可)

(3) 大人向けイベントを大学で行う場合の参加希望(「参加しない」から「ぜひ参加したい」までの4択)

(2) 子ども用(午後配布)

【質問2】

(2) 参加理由(「楽しそうだったから」「昨年来て、もう一度見たいと思ったから」などから「その他」までの7択)

【質問3】

(2) 「ともだちや」を観て、一番感じた気持ち(「ありがとう」から「その他」まで5択と記述)

(3) 「ほくらのゆめ」を観て、一番感じた気持ち(「笑顔の大切さ」から「その他」まで5択と記述)

【質問4】

(1) 普段子どもが参加しているイベント(「演劇関係」「ものづくり関係」などから「その他」までの6択、複数回答可)

(2) 子ども向けイベントを大学で行う場合の希望(「絵本の読み聞かせ」「紙芝居の読み聞かせ」などから「その他」までの9択、複数回答可)

子ども全体の76%は就学前の子どもであった。3歳~6歳の幼児が一番多い(図1)。

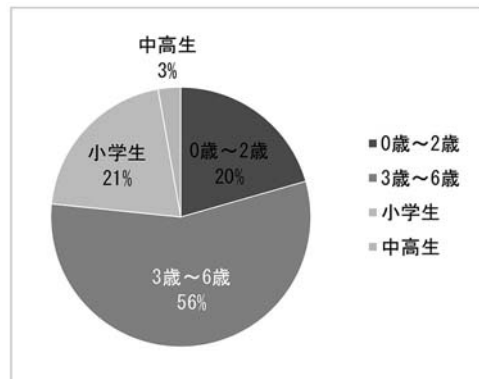


図1 同伴の子どもの年齢

(2) 回答者の居住地は大学近隣の3市を合わせると67%で、3市以外の県内と県外が33%となっている(図2)。

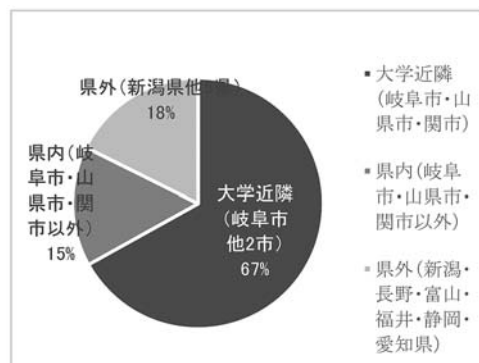


図2 回答者の居住地

IV. 結果(2016年度)

回答は136名から得られた。質問5のみ子ども同伴の大人(保護者対象)であるため69名の回答を得た。今回は、質問1から質問5のうちで、質問3の(2)(3)と質問5は分析から除いた。

【質問1】(1) 同伴の子どもの合計は107名。そのうち乳児は(0歳~2歳)20%、幼児(3歳~6歳)56%、小学生21%、中高生3名で、

(3) 参加回数は、「初めて」が62%で最も多く、次いで「2回目」22%、「3回目」9%となっている。

2回目以上のリピーターは、全体の35%である。「それ以上」という回答の中には、6回~7回という来場者も1%いた(図3)。

【質問2】(1) 開催の情報源は、「知人からの案内」35%で一番多く、次いで「その他」34%、「幼稚園・保育園からのチラシ」26%

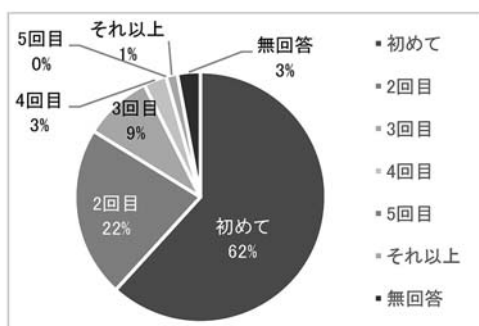


図3 参加回数

表2 開催の情報源

項目	幼稚園・保育園のチラシ	大学ホームページ	知人からの案内	新聞記事	その他	無回答	合計
人	34	5	46	1	44	6	136
(%)	25%	4%	34%	1%	32%	4%	100%

となった。「その他」32%は、本学の学生と大学からの案内ハガキであった(表2)。

(2) スタッフの対応は、「十分できていた」93%、「まあできていた」5%、無回答が2%であった。当日のスタッフ対応は、「十分できていた」「まあできていた」を合わせると、98%という高い数値になり、非常に良い評価を得たことがわかる(図4)。

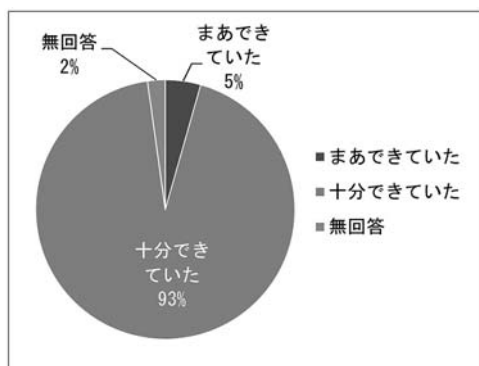


図4 スタッフの対応

- (3) 運営に関して気づいた点(自由記述)
- ・初めて来ましたが、靴のはきかえ、お手洗い、駐車場、会場、どれも丁寧に案内していただき、小さい子連れですのでとても助かりました。
 - ・駐車場に入る時から服装が整い、笑顔で案内してくれる学生に何人も出会いました。とても気持ちがよく、素晴らしい気配でした。感謝します。
 - ・飾り付けがとてもかわいかったです。
 - ・子どもが飽きないよう、手遊びとかをたくさんでくれてよかったです。
 - ・親と一緒に見るので仕方がないですが、後ろの方の子供は見づらかった。客席に段差をつけるのは危ないのでステージをもう1段高くしてみては?

【質問3】(1) 全体を通して子どもは楽しく観ていたか(4択)は、「とても楽しかった」77%で、「まあ楽しかった」4%を合わせると、81%が楽しく観ていたという回答であった(図5)。

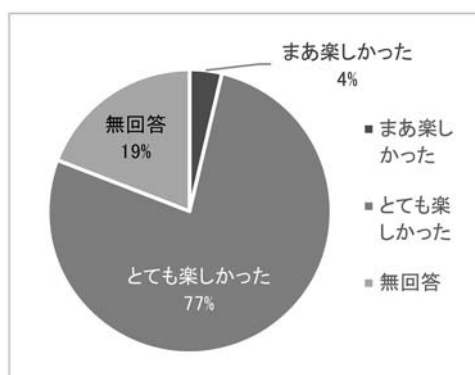


図5 全体に子どもは楽しめたか

- (4) 印象に残っている場面(自由記述)
- ・妖怪が出てきて怖かったけれど、お母さんのために子どもたちが頑張るところで、会場からの子どもたちの応援で勇気が出ると

ころがよかったです。

- ・犬の兄弟のためにハチやクマが協力してくれたところ。「仲間」というもののありがたさ、大切なことを感じました。
- ・お母さんが魔法のりんごを食べて元気になったところ。子どもは感動して泣いていました。
- ・14ひきのねこではみんなで協力して魚を釣りあげるところです。大きな魚が出てきて、子どもたちが楽しそうでした。魚が消えるところも面白かった。
- ・ねこ全員が、正直に魚を食べたことを告白したところ。
- ・ダンスが参加型で子どもは喜んでいました。
- ・演者のみでなく裏方など全てのスタッフがやりきった様子、とても印象に残りました。
- ・スタッフ・キャストの気配りが素晴らしい。
- ・全部楽しかったとの事です。子のために元気で子育てしていかないと…(母)

(5) 今後望むこと

- ・もう一つ演目がみたい。
- ・子どもとの一体感、参加を求めるならば、子どもスペース、無理な子は親子スペースで観覧など工夫すると良い。
- ・太鼓などの大きな音は子どもが怖がります。
- ・聞いたことのあるメロディーに乗せての替え歌もよかったですが、劇中に知っている歌があれば一緒に歌えてもっと楽しめそう。
- ・全員が持ち場をしっかりとこなし、全体が良くまとまっていました。

(6) 全体の感想・質問4その他(自由記述)

- ・メイク・衣装・小道具も本格的で驚きました。演出も本格的で、まるで劇団四季を見ているみたいで良かったです。とても感動

しました。鳥肌立ちました！

- ・演者だけでなく、照明・衣装・音響・演出の全員で物語を作っているのが伝わってきて、とても感動し、心に響きました。
- ・皆さんからエネルギーをもらいました。
- ・初めての鑑賞でしたが、想像以上の出来、内容でした。見る子どもへの教育性、メッセージ性もあり良かった。
- ・思っていた以上にレベルが高くて時間等も適当で、客席と一緒にいる計らいもよかった。
- ・1人1人が生かされたミュージカルで、キラキラしていました。
- ・子ども達も興味津々でじっと見入っていました。役者の方もとても表情豊かで楽しむことができました。
- ・4年の先輩が後輩へ励ましに来てくれる「縦のつながり」を大切にしている女子大は、とてもすばらしいと思いました。
- ・もう本当に1年間楽しみなんです。親が。
- ・2歳になったばかりの子どもも集中して見ていましたし、他の2歳の子も食い入るように見ていました。客席もざわつかないほど集中して見ていられて良かったです。
- ・演者と聴衆との一体感の作り方がさすが3年生という感じがした。授業、実習を通してこれからも頑張ってください。
- ・園児から大人まで楽しめるものでした。来年も是非みたいです。
- ・これだけ素敵なミュージカルを今日だけ上演するのはもったいないです。近くの幼稚園や保育園で上演したらどうですか？
- ・このような環境、仲間、学校、先生が周囲にいるのなら、娘をお任せできると思います。できるだけ保護者として協力します。
- ・このような生徒さんたちが将来、保育園や幼稚園の先生になって下さると思うと、こちらも安心して預けたいと思えました。

V. 結果 (2017年度)

回答数は, 大人用は117名, 子ども用は72名であった。2016年度と同様に, 質問3の(2) (3)は分析から除いた。

(1) 大人用のアンケート結果 (117名)

【質問1】(1) 回答者の年齢は, 10代32%, 次いで40代24%と続く。10代, 20代は本学他学科・他専攻の学生がほとんどである。また, 学生の保護者が最も多いため, 年齢では40代, 50代が多くなっている (図6)。

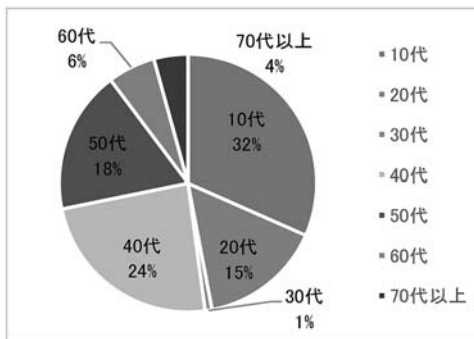


図6 回答者の年齢の内訳

(2) 本学との関係性は, 保護者46%, 次に学生41%, その他6%となっていた(図7)。

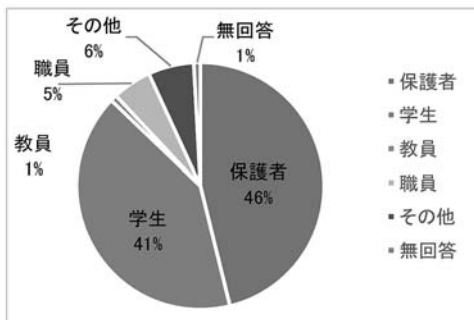


図7 本学との関わり

(3) 参加回数は, 「初めて」53%, 「2回目」33%, 「3回目」9%となっている (図8)。2回目以上のリピーターは, 全体の42%で昨

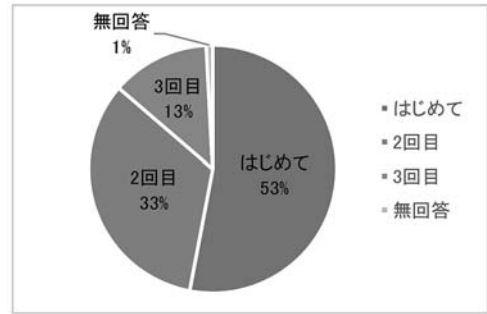


図8 参加回数

年度より増えている。

【質問2】(1) 開催の情報源は, 「知人からの案内」35%で一番多く, 次いで「その他」34%, 「幼稚園・保育園からのチラシ」26%となった。「その他」32%は, 本学の学生と大学からの案内ハガキであった (表3)。

表3 開催の情報源

項目	幼稚園・保育園のチラシ	大学ホームページ	知人からの案内	新聞記事	大学からの案内	その他	合計
人	2	0	30	0	80	5	117
(%)	2%	0%	26%	0%	68%	4%	100%

(2) 参加動機 (複数回答可) は, 「知り合いが関わっている」54名が最も多く, 「もう一度見たいと思ったから」40名, 「楽しそうだったから」33名と続く (図9)。「その他」には, 「娘が出演しているので見に来ました。自分も保育士として働いた, 又, 働くことがあるかもしれないので勉強 (参考) のため」「学校での勉強の成果を見てみたかった」と, 自分の子どもが頑張っているところを見たいという意見があった。

(3) スタッフの対応は, 「十分できていた」96%, 「まあできていた」2%, 「全くできていなかった」1%あった。当日のスタッフ対

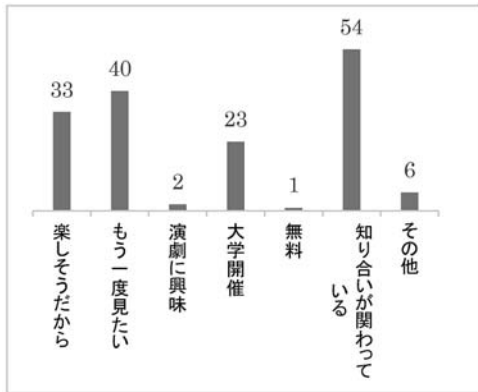


図9 参加動機 (大人)

応は、「十分できていた」「まあできていた」を合わせると98%となり、昨年同様高い評価になっている (図10)。

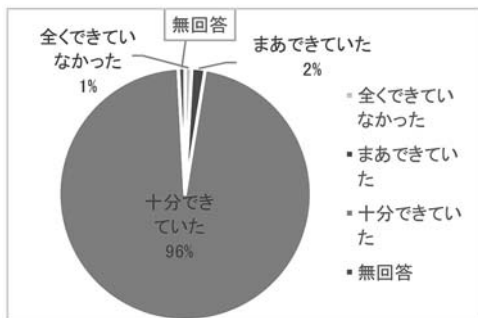


図10 スタッフの対応 (大人)

(4) 運営に関して気づいた点 (自由記述)

- ・親切にできていた。あいさつがよくできていた。
- ・とても生徒達が丁寧で、学内もきれいで子供さん達がこんな環境で勉学に臨めてありがたいです。
- ・椅子席がもう少しあるとよい。

【質問3】(1) 全体の感想は、「とても楽しかった」96%、「まあ楽しかった」2%で、本年度も98%という高い評価であった (図11)。

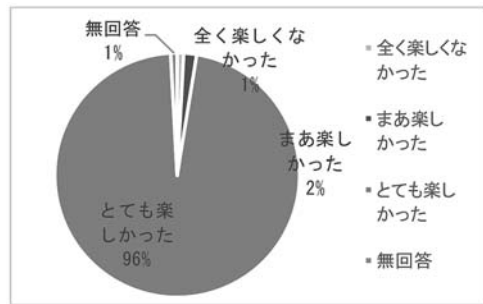


図11 全体の感想 (大人)

(4) 印象に残っている場面 (自由記述)

- ・ともだちの大切さ。夢をもつ大切さ。
- ・みんなの夢がいっしょでみんなの笑顔だったこと。
- ・すべて！子供達のがんばりすごいです。
- ・おおかみと沢山の動物がけんかしている時心が痛かった。
- ・楽しそうに演技しているところ。
- ・最後にみんなが出てきて笑顔がよかった。
- ・学生一人一人が楽しくみんなと演じている姿 すごくウルウルしました。
- ・生徒みなさんが一生懸命演じていることが大変良かったです。演者以外の人の協力も良かったです。
- ・練習しただろうと思われる一場面一場面の笑顔。

(5) 今後望むこと

- ・以前のように各学年がやってほしいです。
- ・仲間の良さやうそをつかないなど園児に関わるもの。

(6) 全体の感想・質問5その他 (自由記述)

- ・歌もとても上手で年々質が上がっているな と思いました。子供達にも分かりやすい内容 だと思います。
- ・舞台等の製作も大変だったかと思います。皆さんの協力があつてのものだと想像 できました。
- ・1年違うと場慣れするのか、3年生は堂々

としてました。来年の2年生の成長が楽しみです。

- ・大変楽しく見ることが出来ました。チームワークの良さを感じました。
- ・全ての人がそれぞれの役割を全うして輝いて良かった。
- ・あっという間に感じました。2・3年のミュージカルどちらも泣きました。素敵な時間をありがとうございました。
- ・一所懸命練習したのがよく分かります。大人でも引き込まれるほどよいミュージカルでした。
- ・学生手作りが良い。みんなそれぞれ頑張っていることが伝わった。
- ・すごく感動しました。子どもたちに声かけたりしてコミュニケーションをとっているのが良いと思いました。
- ・(学生の保護者)とても良かった。本格的なミュージカルを観ている様で、クオリティーが高いと思った。またミュージカルを通して子供達の成長を感じ、素晴らしかったです。
- ・(学生の保護者)子供達へのご指導いつも先生方への感謝しております。
- ・普段一緒に過ごしている仲間の頑張っているところが見れて良かった。

(7) 活動を通して学生の良い姿や身に付けたと感じられること (自由記述)

- ・将来が楽しみです。良い指導者となれます。
- ・いろいろな人に対する対応力。話し方の表現力。
- ・子供にメッセージを伝えながら1つのものを創り上げる努力、達成感を味わえたのではないのでしょうか? 子供たちに伝えていただけたとうれしいです。
- ・自分達でやることで仲間同士の関わりが強くなって又、協調性ができ良いと思います。
- ・1人ひとりが「協力」して作品を作り上げ

ることの大切さ。

- ・目標にむかってやりとげる力、この力は今後いろんな場面が必要だと思います。
- ・何ヶ月もかけて創り上げたものは、演者のまとまり、衣装・音響等の完成度が高くて一体感がありました。本当に伝えたいことがある時は時間をかけて創らなければならないと思った。
- ・協力する事。大人、小さな子供にも色々対応でできることを身に付けられる様になったと思います。
- ・すべての物事は自分一人ではなく仲間がいて成り立っているということ。
- ・仲間と一緒に1つの事を成し遂げる事、心の寄り添い方の勉強になっていると思います。
- ・協力すること、そして協力することの難しさではないでしょうか。そして、その後の達成感。
- ・出演者だけでなく、多くの力があって一つの舞台になっていると感じました。
- ・恥ずかしがらずにおもいきりやっているもので、何事も堂々とやる力がついていました。
- ・全ての学生が運営になずさわっている事がこのミュージカルの本質であるのがわかりました。

【質問4】(1) 普段、参加しているイベント(複数回答可)は、「音楽関係」37名が最も多く、「演劇関係」23名、「スポーツ関係」15名と続く。(図12)

(2) 大学で行う大人向けイベントの希望(複数回答可)では、「料理づくり」32名が最も多く、「ものづくり」24名、「最先端の学び紹介・体験」21名と続く。(図13)

(3) 大人向けイベントへの参加希望は、「ぜひ参加したい」14%、「参加してもよい」75

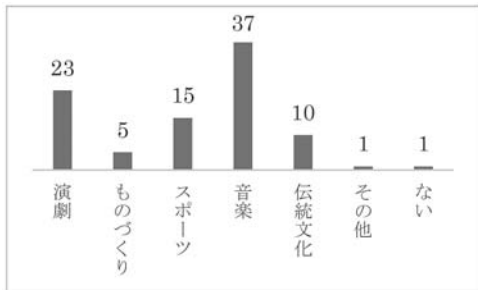


図12 普段参加しているイベント (大人)

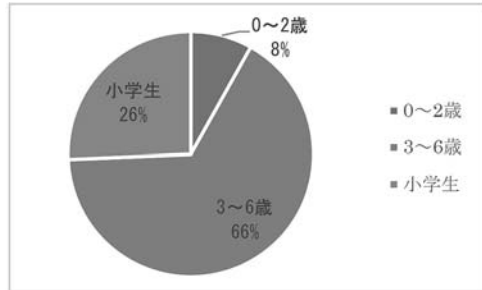


図15 子どもの年齢の内訳

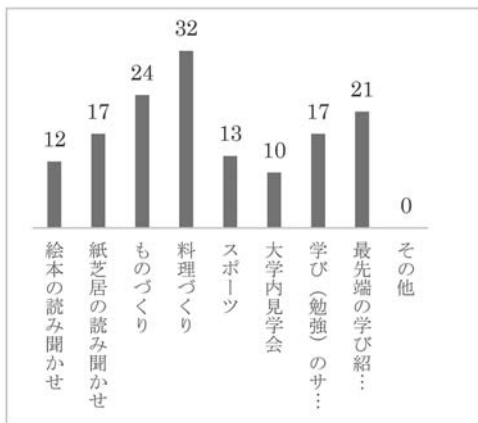


図13 イベントの希望 (大人)

%で、9割弱の人が大学で開催する大人向けイベントに参加する意思があることがわかった(図14)。

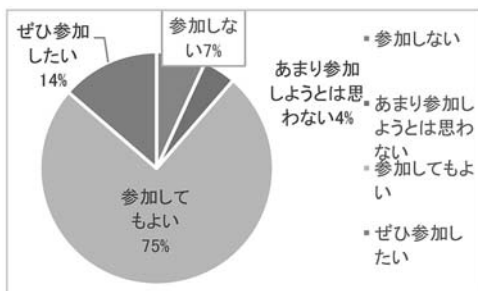


図14 イベントへの参加希望 (大人)

(2) 子ども用のアンケート結果 (72名)

【質問1】(1) 子どもの年齢の内訳は、乳児(0歳～2歳) 8%、幼児(3歳～6歳) 66%

で、本年度も就学前の子どもが全体の74%と多い(図15)。

(2) 回答者の居住地は、大学近隣の3市を合わせると86%で、3市以外の県内と県外が9%、無回答2%であった。となっている(図16)。

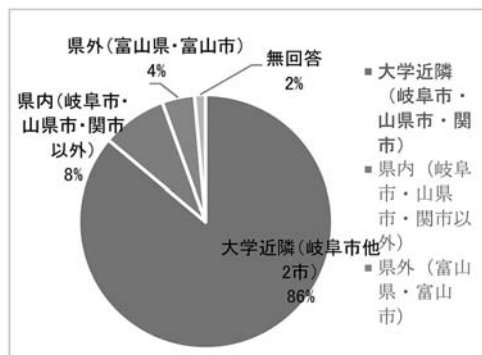


図16 来場者の居住地

(3) 参加回数は、多い順に「はじめて」53%、「2回目」24%であった。少数ではあるが、5回目、7回目、8回目とほぼ毎年来場されている人もいたことがわかった(図17)。

【質問2】(1) 開催の情報源は、「幼稚園・保育園のチラシ」52名が最も多かった(表4)。「その他」には、児童館に配置されていたチラシを見て来たという人が6名、家族(孫・姉)がいるという人が3名であった。

(2) 参加動機(複数回答可)は、「楽しそう

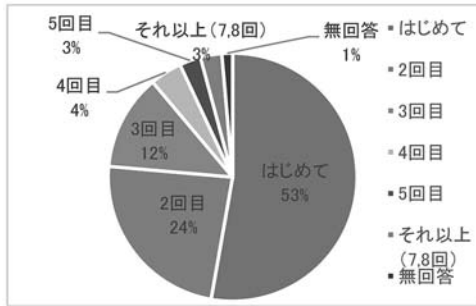


図17 参加回数 (子ども)

表4 開催の情報源

項目	幼稚園・保育園のチラシ	大学ホームページ	知人からの案内	新聞記事	その他	合計
人	52	1	8	0	11	72
%	72%	2%	11%	0%	15%	100%

(3) スタッフの対応は、「十分できていた」96%、「まあできていた」3%、「全くできていなかった」1%あった。当日のスタッフ対応は、「十分できていた」「まあできていた」を合わせると99%となり、昨年及び午前同様高い評価になっている(図19)。

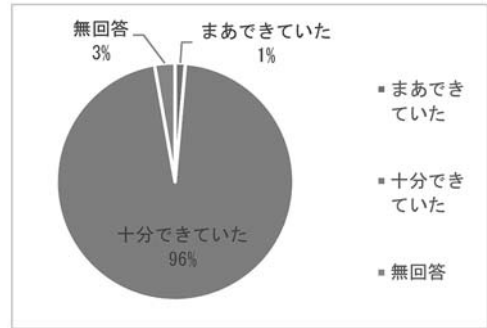


図19 スタッフの対応 (子ども)

だから」37名が最も多く、「昨年見て、もう一度見たいと思ったから」27名、「無料だから」19名と続く(図18)。「その他」には、「大ファンです。毎年楽しみにしています」「“実習に来た先生に会いたい”と子供が言った為」という意見が複数あった。

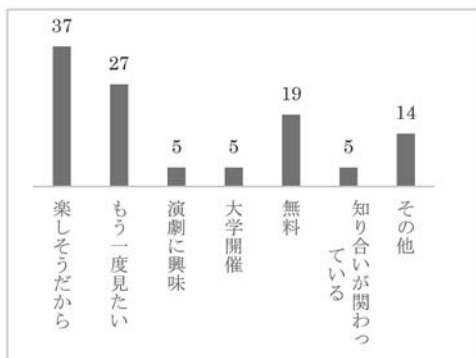


図18 参加動機 (子ども)

(4) 運営に関して気づいた点(自由記述)

- ・車の誘導から始まり、会場入口までの備えが素晴らしく、気持ち良く見る事ができました。
- ・全ての方がとてもていねいですばらしいです。
- ・去年、教育実習に来て頂いた先生に会えて、娘もうれしそでした。ありがとうございました！
- ・子ども用観覧席の設置が素晴らしい。子ども目線で考えられていてよいです。

【質問3】(1) 全体の感想は、「とても楽しかった」96%、「まあ楽しかった」3%で、午前に引き続き午後99%という高い評価であった(図20)。

(4) 印象に残っている場面(自由記述)

- ・みんなが仲良くなったところ
- ・夢をかなえたいと強く願うことは大切だところ。

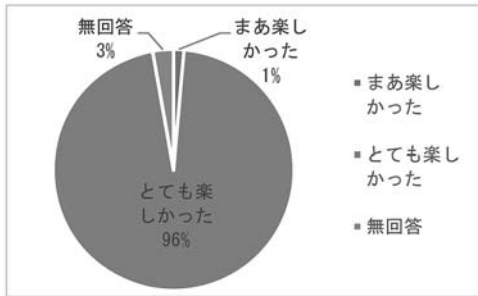


図20 全体の感想（子ども）

- ・友だちの関係
- ・友だちの正直さ
- ・「ともだちや」素直な気持ちの大切さ。「ぼくらのゆめ」夢の大切さ。
- ・歌や踊りを楽しくできたこと。

(5) 今後望むこと

- ・今回のような友達と一緒に見せてあげたい内容だとありがたいです。
- ・子どもの心に残るもの。
- ・姉妹・兄弟仲良くする為にどうしたらいいか。
- ・日本の昔話や世界の名作をミュージカルにしてくれると嬉しいです。

(6) 全体の感想・質問5その他（自由記述）

- ・先生になる勉強をされている学生さんだけあって、さすがに扱い方や子どもへの接し方なども上手だなと思いました。見ていてあたたかい気持ちになりました。
- ・子どもにもとても分かりやすい言葉（セリフ）でよかったと思います。小道具の大きさにも子どもたちは喜んで（楽しんで）いました。
- ・とても迫力があり楽しむことができました。1時間ぐらいでしたが飽きずに座ってみることができました。
- ・学生の方とは思えない程、完成度が高く、楽しむことができました。観客の子ども達をまき込んで問いかけることなど良かった

と思いました。

- ・子供と一緒に体を動かして楽しそうだった。
- ・話のあらすじや役の名前などプログラムに細かく書いてあったので分かりやすかった。
- ・みなさん歌が上手で、今回もおどろかされました。次回も来たいです。
- ・子どもの目線に立ち、発声、動きなども子ども中心に大変よく工夫されていた。子ども廣がとてもよく、子どもたちも満足していた。
- ・今回のような、友達の大切さを考えられる内容だとお友達を誘って一緒に見せてあげたいな、と思いました。
- ・（子ども直筆）とてもおもしろかったのでまたきたいし、わたしにもいいゆめをもつてくらしたいとおもったし、ともだちをつくってなかよくくらしたいとおもいました。
- ・いつもにない、花道ができていてものすごく良かったです。大きなたいこの音はうちの子はこわがります。
- ・時々、真っ暗より、少し明るさを残してもらったほうが、子供がこわがなくてよかったです。
- ・3才には少し話が長く、おどりもスピードが早くむずかしかった。
- ・子供はすごく楽しかったようです。ワンピースネタは4才にはむずかしかったみたいです。去年のエビカニクスぐらいが良いかと。

【質問4】(1) 普段子どもが参加しているイベントは、「ものづくり関係」28名が最も多く、「演劇関係」と「スポーツ関係」がともに17名であった(図21)。「その他」では、絵本の読み聞かせやショーが記載されてい

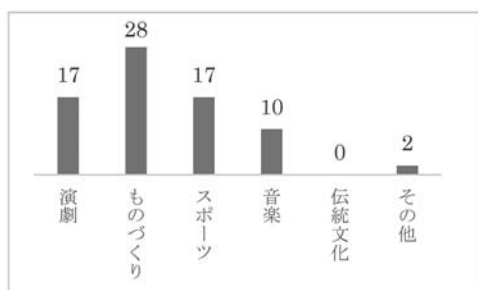


図21 普段参加しているイベント (子ども)

た。

(2) 大学で行う子ども向けイベントの希望 (複数回答可) では、「ものづくり」35名が最も多く、「料理づくり」「スポーツ」20名と続く (図22)。

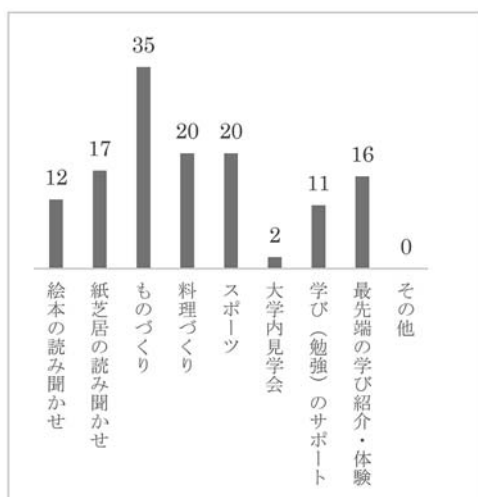


図22 イベントの希望 (子ども)

Ⅵ. 活動の意義

アンケートの自由記述をまとめると、「運営・対応について」「ミュージカルの内容について」「教員養成校としての指導力」という分類に分けることができる。この分類に添い本活動の意義を述べる。

(1) 「運営・対応について」

「運営・対応」の力は、保育者や教員となったときに、園・学校での行事を運営したり保護者や地域の人と関わったりするときに必要となる力である。

「スタッフの対応」などの運営面でのアンケート結果において、小さい子どもを連れて家族への配慮ができていたり笑顔で接していることについて評価されている。また、2016年度には、「後ろの方の子供は見づらかった」という意見があったため、2017年度では子ども用スペースを観客席前方に、観客席中央に花道を設定した。その結果2017年度の調査の中で「子ども用観覧席の設置が素晴らしい。子ども目線で考えられていてよいです。」と改善策への評価が得られた。このように、周りの人からの意見を参考に、より良い方法を考え実行できる力を学生たちは身につけた。それは、将来、園や学校での行事運営力、保護者・地域の方々への対応力につながると考える。教員養成校として、本活動の意義の一つをここに見出すことができる。

(2) 「ミュージカルの内容について」

「2歳になったばかりの子どもも集中してみていましたし、他の2歳の子も食い入るように見ていました」、「子どもの目線に立ち、発声、動きなども子ども中心に大変よく工夫されていた。子ども席がとてもよく、子どもたちも満足していた」との記述がある。これは内容面の工夫、子どもの年齢に合ったセリフや子どもと一緒にやるダンスにより、このような評価につながったと推察できる。

この結果を学生は受け止めることで、講義で理論として「発達段階に応じた対応」と学んでいることが、より実感を伴って理解することにつながる。理論と実践を往還した学びとなるミュージカル活動であると言える。さらには、自由記述のように子どもが夢中にな

る姿があることで、保護者からの満足度にもつながり、毎年継続して来場される意欲を生み出している。この毎年継続した参加は、本活動が地域の子育て支援の一環を担うことにもなっているとも言える。

(3)「教員養成校としての指導力」

本活動は、地域の人や学生の保護者にとっては大学でどのような人材を養成しているのか、自分の子どもはどのような学生生活を送っているのかを知る機会にもなる。また、外部からの評価を得る機会とも言える。その活動を位置付けられていることに意義があるとともに、その中で、「このような生徒さんたちが将来、保育園や幼稚園の先生になって下さると思うと、こちらも安心して預けたいと思えました」「ミュージカルを通して子供達の成長を感じ、素晴らしかったです」との評価を得たことは、教員養成校としての指導力を高く評価された証と言える。

これらのように、本活動は、保育士・教員となった時の行事運営力、人との対応力の育成、地域の子育て支援への一助、教員養成校としての評価の場としての意義があることが見えてきた。そして、何より、学生にとって、理論を実際に体得する実践の場となり、理論と実践の往還をし、保育士・教員としての力量を高めていく場となっていることに大きな意義がある。

VII. まとめ

本稿においては、これまで継続して取り組んできたミュージカル活動の意義を来場者のアンケート分析より考察した。その結果、この活動は、学生にとって保育士・教員としての力量を形成する場となっていること、地域の子育て支援の一助となっていることが見えてきた。教員養成校として、学生の力量形成

につながる活動となっていると評価されることがこの活動の意義であり成果であると言える。

しかし、アンケートの内容を見ると、まだまだ子どもたちの年齢を意識した対応（ミュージカルの内容や座席の設定など）ができていない等の指摘を受けている。このことから、学生に保育士・教員となっていくための力量形成をより充実して図っていく必要があると言える。

本稿において、来場者からのアンケートを分析することで、ミュージカル活動への外部からの客観的な評価を考察した。この結果を今後の本専攻の保育士・教員養成の在り方のさらなる改善につなげていく。

参考文献

- ・松本香奈・齋藤陽子・森洋子・位田かづ代「教員養成におけるミュージカル活動の意義―上演までの過程と事後アンケート調査からの考察―」岐阜女子大学紀要第43号, 2014, p 129-135
- ・松本香奈・位田かづ代・森洋子・土井のぞみ・齋藤陽子「保育士・幼稚園教諭に求められる資質能力の向上のための取り組み―ミュージカル上演活動を通じた成果と課題―」岐阜女子大学紀要第45号, 2016, p 115-123
- ・松本香奈・位田かづ代・森洋子・土井のぞみ・齋藤陽子「保育士・幼稚園教諭に求められる資質・能力の向上のための取り組み―継続的な活動による学生の成長―」岐阜女子大学紀要第46号, 2017, p 61-74
- ・古屋祥子, 沢登美美子, 高野牧子「保育者養成校におけるオペレッタ創作活動の教育的効果―2011年度「総合表現演習」の実践から―」山梨県立大学名間福祉学部紀要 Vol. 7, 2012, p 31-48
- ・宮本智子「保育者養成校におけるオペレッタ

教員養成におけるミュージカル活動の意義Ⅱ

—来場者アンケートの分析から—

(松本香奈, 位田かづ代, 森 洋子, 土井のぞみ, 齋藤陽子)

授業の効果—表現力の観点から—」国際学院

埼玉短期大学研究紀要 VoL 28, 2007, 19-27

・ 武岡真知子「保育者養成における音楽表現 “オ

ペレッタ” の意義」富山短期大学紀要45,

2010, p 33-42

